



vol.01
2025年
8月発行

創刊号

『しっぽのきせつ』は、岐阜市地域猫の会が年4回お届けする、地域猫活動とまちづくりの情報誌です。

猫を通して見えてくる、人と人とのつながりや、地域に潜む課題、そして解決への取り組みをお伝えします。

まちも猫も、やさしく元気でいられる季節を、一緒に育てていきませんか。

- P2. **特集** **夏を生きるしっぽたち**
給水場と夏のエサやりについて
- P3. **にゃんとも知識箱** **地域猫活動って何？**
リレーコラム「しっぽとわたし」
- P4. **譲渡会のお知らせ、活動報告**



お知らせ

保護猫 譲渡会

9月28日(日)

11:00~14:00

場所:岐阜市斎苑 待合室2F
住所:岐阜市上加納山4717-4

ご自宅に眠ってるフードやグッズはありませんか？

岐阜市地域猫の会より、ご寄付のお願いです。
お家に食べない未開封のフード、猫砂、ペットシート、古いタオルなどのご寄付大歓迎です。
ご協力の程、何卒よろしく願います！

高齢者の方へ

「もう猫を飼うのは難しいかも・・・」とあきらめていませんか？
私たちは「高齢だから」と猫との幸せな時間を諦めてほしくありません。一人ひとりの状況に合った飼い方を一緒に考えますので、ぜひ譲渡会にお越しください！

待ってるにゃ〜！

活動報告

看板を新しくします！

岐阜市地域猫の会では、公園に設置されている「無責任なエサやりは、やめましょう」という看板について、「無責任な」という言葉があいまいで、受け取る人によって解釈が異なり、誤解やトラブルの原因になっていると考え、公園整備課と協議を重ねてきました。その結果、現行の看板は撤去され、岐阜市保健所と協力して、新しいデザイン・内容の看板を作成することになりました。完成後は、市内の公園などに順次設置される予定です。

猫への無責任なエサやりは、やめましょう

・エサを放置したままにしない
・フンの後始末をする
・増やさない(避妊・去勢手術)

人と動物が共に幸せに暮らせるまちを目指しましょう。
動物を捨てることは犯罪です！

ネコフェス、無事終了！

8月8日から11日の4日間、カラフルタウンで開催された「ネコフェス」に参加しました。岐阜市地域猫の会からは、地域猫活動を紹介する啓発パネル展と、ペット防災グッズの展示・パネル紹介を実施。来場された多くの方が足を止め、熱心に説明を聞いたり、展示品を手にとってくださり、地域猫活動やペット防災への関心の高さを感じられるイベントとなりました。

[AD]

夜の猫の譲渡会

9/26(金) 17:30~20:00

場所 ONELife 第一レッスン室 **入場無料**

※駐車場はONELife 東側、南側にあります

主催：NPO 法人 人と動物の共生センター
共催：岐阜市地域猫の会

[AD]

もしも、自分が飼えなくなっても、最後まで責任を果たすために。

そんな想いに応える仕組みがあることをご存知ですか？

「ペット後見互助会 ともものわ」では、万が一、飼い主さんが入院や施設に入ることになって、ペットを飼えなくなってしまう事態に備えるための互助会です。岐阜県岐阜市を拠点に、獣医師らを中心として活動しています。

こんな方におすすめ

突然の入院で、愛犬・愛猫のことを頼める方がいない方
愛犬・愛猫のために遺産を残したい方
犬や猫を迎えたいけど、年齢を考えてためらっている方

お気軽にお問い合わせください
NPO 法人 人と動物の共生センター
〒500-8225 岐阜市岩地 2-4-3
TEL:058-214-3442
受付時間 9:00~17:00 [不定休]

ペット後見互助会 **検索**

おわりに(編集後記)

「猫がいるから、話せる人がいる」しっぽを通じて、地域がやさしくつながっていく。そんな未来を、岐阜からつくっていきます。

ボランティアスタッフ募集

一緒に地域の猫たちを守り、安心できる環境をつくる活動をしませんか？初心者でも大歓迎！
私たちが丁寧にサポートします。

にゃんともやさしい共生プロジェクト
令和7年度 岐阜市市民活動支援事業 採択事業
※無断転載・複製を禁じます

2025年8月 創刊号
発行・編集／岐阜市地域猫の会
TEL：090-9568-5792
(NPO 法人 人と動物の共生センター内)

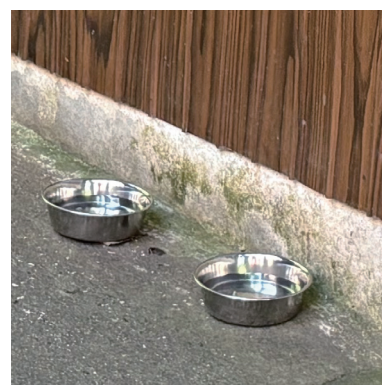
夏を生きるしっぽたち



縁の下や瓦礫の陰で暑さをしのぐしっぽたち

一、日陰に給水場の設置

暑い夏、猫たちも水分が足りなくなりがちです。日陰のある場所に、猫たちが安全に水を飲める「簡易給水場」を設置して下さい。風で飛ばされない重さがある器に水を入れて、日差しを避けながら毎日清潔に保つよう心がけて下さい。



風通しの良い場所に水を設置します

二、エサの傷みを防ぐエサやり

夏場はエサがすぐに傷みます。私たち岐阜市地域猫の会では、「涼しい時間帯に、食べられる量を与える」というルールの周知と徹底に取り組んでいます。

推奨時間帯

・朝の早い時間（6～8時）
・夕方の涼しい時間帯（18時以降）
置きエサ（※1）は行わないようお願いしています。

NG



エサを置きっぱなし

OK



・決まった時間と場所で
・食べ終わったら片づける

エサやりにはルールがあります
地域猫活動では、エサやりはただ優しさで行うものではなく、地域の理解と協力のもと、ルールに基づいて行う「責任ある行為」です。
※1 「置きエサ」とは、人がその場におらず、エサだけを放置する行為です。たとえ善意であっても、多くの問題があります。さらに、容器に入れず地面に直置きする餌やりは、一番の迷惑行為になります。

地面に直置きすると、アリやゴキブリなどの虫が群がる原因となります



エサやりの基本ルール（地域猫活動の場合）

大前提としてご飯を与える猫は全て不妊去勢をします

- 決まった時間にあげる
- 決まった場所であげる
- どんな猫にあげているのかを把握する



- 道路など危険な場所では与えない
- 他人の敷地内では必ず許可をもらう
- 直に地面に置かず、器に入れる
- 食べ終わったら、器を必ず片づける

エサをあげるはいけない？

野良猫へのエサやりを禁止する法律はありません。しかし野良猫への置きエサは、やり方によっては法律や条例に触れることがあります。
残ったエサや容器をそのまま放置すると、「ごみの不法投棄」と見なされる可能性があります（廃棄物処理法）。また、岐阜市の「まちを美しくする条例」では、ごみや空き缶などを散乱させないことが定められており、置きエサによって周囲が汚れば、この条例の趣旨にも反します。

にゃんとも知識箱

地域猫活動って何？

まちと猫が仲良く暮らすために――

地域猫活動とは？

「地域猫活動」は、猫の愛護活動ではありません。

野良猫を環境問題として捉え、人が暮らしやすい町づくりという公共の利益を目指すのが「地域猫活動」です。

将来的に、野良猫をゼロにしてい

野良猫とは？

ペットとして動物を飼い始めた人が「終生飼養」することなく、捨てた結果が野良猫です。猫同士が繁殖して、子猫が生まれ、地域で野良猫が増えていきます。

さくら猫とは？

野良猫が不妊去勢をすると、耳に三角の切り込みがいれられて、「さくら耳」になり、「さくら猫」と呼ばれています。

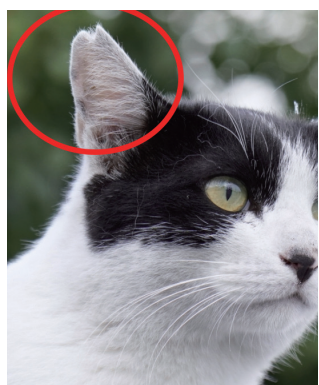
地域猫とは？

「さくら猫」は地域住民たちによって、ご飯やトイレの管理をされ、はじめて「地域猫」となります。不妊去勢がしてあるだけでは「地域猫」にはなれません。

野良猫から地域猫へ



地域住民でご飯やトイレの管理を



耳に三角の切れ込みがあるのが、「さくら猫」

猫を増やさないためにまずは不妊去勢！

岐阜市地域猫の会では

T N R 先行型地域猫活動を実施！！



捕獲（Trap / トラップ）→不妊去勢手術（Neuter / ニューター）→元の場所に戻す（Return / リターン）
この活動を、頭文字をとってTNRといいます。

地域猫活動で大切なのは「地域の理解と協力」
「地域猫」と呼べるには、「地域の合意と協力体制」があることが前提です。一方的なエサやりや、誰かの善意だけでは、「地域猫」とは言えません。
「さくら耳」は出発点。
「地域猫」は、そこから地域全体で支える仕組みです。地域猫活動は始めるだけでも時間がかかります。その間に、野良猫が増えていきます！これ以上の繁殖をストップするため、不妊去勢手術を進めます。

リレーコラム

しっぽとわたし わたしの居場所

「話し相手もない日が続いていたけど、この子にご飯をあげる時間が、わたしの一日になりました。」

ひとり暮らしの高齢者にとって、猫との関わりが「役割」や「生きがい」になることもあります。
私たちは、それをただの「エサやり」とせず、地域で共に支える「つながり」へと育てていきたいと思っています。

